

令和8年度人権教育授業実践研修会 小学校第6学年社会科学学習指導案

1 授業づくりに当たって

政治の働きから歴史学習に入る際のオリエンテーションとして、日本国憲法の条文と自分たちの生活とを関連させ、「教育を受ける権利（第26条）」の保障について考える。差別や貧困によって「教育を受ける権利」をはじめとする様々な権利が奪われた不合理さや、権利保障のために努力した先人の働きが、現在の自分たちの生活にどのようなつながっているかを知ることを通して、歴史上の様々な課題の解決に向けて、どのような取組がなされ、今後どのように権利を守っていけばよいのかについて、主体的に追究・解決しようとする態度が養われるようにする。

2 小学校学習指導要領解説社会編の位置付け

第3章 各学年の目標及び内容

2 第6学年の内容

（内容の取扱い）

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

歴史を学ぶ意味を考えると、歴史学習の全体を通して、歴史から何が学べるか、歴史をなぜ学ぶのかなど歴史を学ぶ目的や大切さなどについて考えることである。例えば、我が国の伝統や文化は長い歴史の中で育まれてきたことを踏まえ、過去の出来事は現代とどのような関わりをもっているかなど過去の出来事と今日の自分たちの生活や社会との関連や、歴史から学んだことをどのように生かしていくかなど国家及び社会の発展を考えることである。

その際、今日の自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深く関わっていることなどを理解できるようにし、自分たちもこれからの歴史の担い手となることや、平和で民主的な国家及び社会を築き上げることについて、考えを深めるようにすることが大切である。

実際の指導に当たっては、我が国の歴史は各時期において様々な課題の解決や人々の願いの実現に向けて努力した先人の働きによって発展してきたことを理解できるようにし、我が国が発展してきた基盤について考え、我が国の歴史への関心を高めるようにすることが大切である。このことは、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情を育てることにつながるものである。

3 学びの視点

【令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」(P.12～13) から】

視点① 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。

視点② 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える。

視点③ 厳しく差別されてきた身分の人々が不合理な差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する。

4 本時

(1) 目標

- ・ 「教育を受ける権利は」、これまでの歴史の中で、差別の不合理性に怒り、立ち上がった人々の努力によって守られてきたことを理解することができる。(知識及び技能)
- ・ 教科書無償給与制度や識字学級について知ること、差別の不合理性に気づき、権利を守るためにはこれからも努力する必要があることに気付くことができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ・ これから学ぶ歴史学習の中で、どのような見方や考え方をもちて歴史学習に取り組むことが大切なのかを理解しようとするすることができる。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点 ・ 学習資料
気付く	1 教科書の価格を調べ、課題意識をもつ。 ・ 「定価」には金額が書かれていない。 ・ 教科書が無償で使うことができる。 この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。	3	◆ 教科書の裏表紙に書かれている内容を確認することで、教科書が無償で支給されていることに気付くことができるようにする。 ◆ 小学生の人口と教科書の価格を示すことで、多くの税金が使われていることが理解できるようにする。 ・ 教科書配布リーフレット
	2 本時の学習問題をつかむ。 教科書はどのようにして無償で支給されるようになったのだろう。	5	
調べる ・ 深める	3 これまでの学習や、裏表紙に書かれているメッセージを踏まえて予想や疑問点を出す。 ・ 教育を受ける権利があるから。 ・ 国会で決めたのではないか。 ・ 教科書無償給与制度って何だろう。		◆ これまでに学習した「国民の権利」、「税金の働き」、「国会の働き」等を振り返ることで、問題解決に見通しをもつことができるようにする。 ◆ 教科書配布リーフレットに書かれている言葉で意味がよく分からないものについて考えることで、教科書無償給与制度に着目できるようにする。
	4 動画を視聴し、教科書無償給与制度について確かめる。 ・ 1955年頃の教科書代は今の金額で、4,200円ほど ・ 教科書を買えない子ども ・ 「教科書をただにする会」 ・ 日本国憲法第26条 ・ 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律	7	・ NHK for School「日本国憲法と教科書」 ◆ 当時の収入と教科書代を比較することで、保護者たちにとって、教科書代はかなりの負担だったことに気付くことができるようにする。 ◆ 憲法第26条を読むことで、全ての人が平等に教育を受ける権利があることや義務教育は無償であることを確かめられるようにする。 ◆ 教育を受けさせたいという親の強い願いに気付けるようにする。
調べる ・ 深める	5 教育を受ける権利を奪われた人の思いや願いを考える。 (1) 文字の読み書きができないことで困ることを考える。 ・ バスや電車の行き先 ・ 病院や役所、銀行で ・ 買い物、商品説明 ・ 就職、車の免許、選挙…	20	◆ 具体的な生活場面を想起させることで、文字の読み書きができないために困ることを考えられるようにする。 ◆ 学習資料① 「ひいおばあちゃんのひらがなノート」を読むことで、教科書を買うことができなかった人たち、勉強したくてもできなかった人たちの気持ちを理解することができるようにする。

まとめる・広げる	(2) 学習資料①を読み、感想を交流する。 (3) 差別や貧困によって学校に行けなかった人たちが奪われたものは何か考える。 ・ 文字を読み書きする力 ・ いろいろなことを知る権利 ・ 友達、青春 ・ 将来の夢や仕事 等 6 学習問題のまとめをする。 憲法で義務教育は無償であると定められていることを理由に、教科書も無償で給与してほしいという運動を起こした人たちの願いが通じて、国会で新しい法律がつけられた。 ・ 国会に声を届けることができる。 ・ 自分たちで社会を変えていける。 ・ 私たちが暮らしやすい社会をつくる。 ・ 私たちはどんな社会をつくればよいのだろう。 7 本時の学習で気付いたことを交流し、これから学ぶ歴史学習で大事にしたいことを確認する。 ・ 過去の出来事と今の自分たちの生活をつなげて考える。 ・ 歴史から学んだことをどのように生かしていくか考える。 ・ 自分たちの生活が、先人たちの働きの上に成り立っていることを知る。 ・ 自分たちはどんな未来をつくっていきたいかを考える。	【視点②】 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の状況に気付き、差別の不合理さについて考える。 ◆ 教科書を買えない子どもや保護者、差別や貧困のために学ぶ権利を奪われた人の思いや願いを想像することで、現在の自分たちの学ぶ権利が保障されていることの大切さやありがたさに気付くことができるようにする。 ◆ 不合理な差別の中でも、あきらめずに自分を向上させようと努力する姿や学ぼうとする意欲など、豊かな生き方を感じられるようにする。 【視点③】 厳しく差別されてきた身分の人々が不合理な差別の中をどのような思いで生きてきたかを理解する。 ◆ 様々な人権問題や差別の不合理さなどは過去だけのことではなく、現代にも存在することを具体的な事例を通して確認することで、未来につながる学習であることに気付くことができるようにする。 5 5 ◆ 歴史が、今の自分たちの生活につながっていることや、自分たちがこれからの歴史の担い手になること等を確認し、学習意欲を高められるようにする。
----------	---	--

(3) 評価

- ・ 「教育を受ける権利は」、これまでの歴史の中で、差別の不合理さに怒り、立ち上がった人々の努力によって守られてきたことを理解することができたか。
- ・ 教科書無償給与制度や識字学級について知ること、差別の不合理さに気付き、権利を守るためにはこれからも努力する必要があることに気付くことができたか。
- ・ これから学ぶ歴史学習の中で、どのような見方や考え方をもって歴史学習に取り組むことが大切なのかを理解しようとしたことができたか。